

当事者意識を高めるグランドデザインの作成演習

マネジメント・プロジェクト小学校部会



カリキュラム・マネジメントは管理職やミドルのものではなく、児童にかかわる教員全員に必要な意識である。当事者意識こそ若手に必要である。

天笠 茂

1. ねらい

開かれた教育課程を実現するために、学校のグランドデザインを協働で作成することにより、学校職員はもとより地域・家庭の人々の学校経営の参画意識をうみ、学校教育目標の具現化を図る。

2. 準備物

- (1) 学校のグランドデザインシート（小学校版）・・・・・・・・付録1
- (2) 目指す子どもの姿にせまるための戦略アイデアワークシート・・・付録2
- (3) ひと・ことカード・・・・・・・・付録3

3. 学校のグランドデザインシート

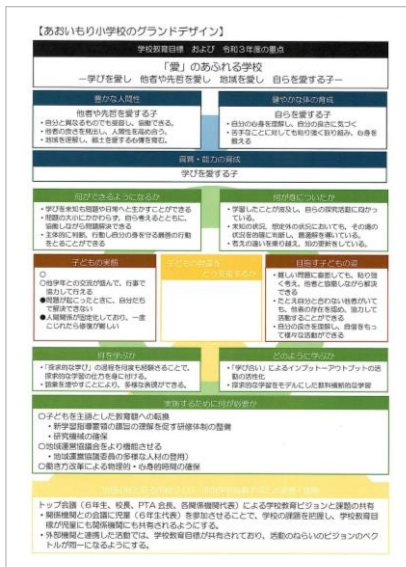


図1 グランドデザインシート

太田(2020)は、社会に開かれた教育課程を実現させるためには**地域住民の参画が重要な要素**であるとしている。加えて**グランドデザイン作成のために、3トップ会談（6年生、校長、PTA会長）の熟議**を行ったA校の実践の分析では、以下のとおり、成果と課題を整理している。

- 【成果】 担当者が作成して提示するより、関係者と協働しながら作成した方が、はるかに**当事者意識が生まれ効果的**である。
- 【課題】 多忙を極め、働き方改革が強力に推進されていく中で、**いかに時間と場を設定していくかが最も大きな課題**である。

そこで、グランドデザインのすべてを協働で作成するのではなく、「子どもの実態」と「目指す子どもの姿」を照らし合わせ、**「戦略を考えること」に焦点化**することとした。そして、本演習では、架空の小学校を想定し、図1のシートを用いる。

4. ひと・ことカード



小学校学習指導要領解説総則編では、カリキュラム・マネジメントの3つの側面の1つとして、

教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともに、その改善を図っていくこと

をあげ、資源と教育内容を効果的に組み合わせしていく必要性を示している。

校長	教頭	地域スポーツ少年団代表	伝統芸能保存会代表	入学式	始業式	宿泊学習	夏休み
教務主任	生徒指導主任	幼稚園関係者	1年児童	避難訓練	参観日	学習発表会	中学校との交流学習
研修主任	養護教諭	2年児童	3年児童	委員会活動	クラブ活動	1年生を迎える会	6年生を送る会
道徳教育推進教師	スクールカウンセラー(S・C)	4年児童	5年児童	運動会	児童会総会 児童総会	芸術鑑賞教室	スキー学習
スクールソーシャルワーカー(SSW)	栄養教諭	6年児童	保護者	遠足	修学旅行	児童会行事	学校行事

そこで、**図2**のように「ひと・ことカード」で学校をとりまく人的・物的資源を視覚化することで、人的・物的資源の把握と共有化を図る。

図2 ひと・もの・ことカード

5. 目指す子どもの姿にせまるための戦略アイデアワークシート

The worksheet is divided into three sections:

- 1. ① 私の学校は、子どもたちに対して**
A box with 'ひと' (hitotsu) and 'もの・こと' (kotu) connected by 'が' and 'で'. Below it, a box for '工夫をします。' (We will make efforts).
- 2. ② 私の学校は、子どもたちに対して**
A box with 'ひと' and 'もの・こと' connected by 'が' and 'で'. Below it, a box for '工夫をします。' (We will make efforts).
- 3. ③ 私の学校は、子どもたちに対して**
A box with 'ひと' and 'もの・こと' connected by 'が' and 'で'. Below it, a box for '工夫をします。' (We will make efforts). This section includes handwritten notes and red arrows pointing to specific resources like '栄養教諭' (nutrition teacher) and '校内研修' (in-school training).

このシートは、学校を取り巻く人的・物的資源を把握した上で使用する。

アイデアシート採用の経緯は、教員だけの集団で戦略を考える際に、経験則に偏りがちになり、思考が固執してしまう懸念があるからである。

そこで、多様なアイデアができるように**図3**のワークシートを開発した。以下に使用方法の要点を示す。

- (1) **ひと** のエリアに「ひとカード」を置く。
- (2) **こと** のエリアに「ことカード」を置く。
- (3) (1), (2)の組み合わせからどのような手立てを講じるか下のエリアに記入する。

図3 戦略アイデアワークシート（上：演習前，下：使用后）

6. 演習プログラム例

- (1) 学校の実態，目指す子どもの姿を共有する。
- (2) 学校をとりまく人的・物的資源を把握する。
本演習では、ひと・ことカードを用いる。実際の学校では、人的・物的資源を洗い出す演習を1コマ設けることも想定される。
- (3) 学校の実態を踏まえ、目指す子どもの姿に迫るための戦略を考える。
 - ・「目指す子どもの姿にせまるための戦略アイデアワークシート」を用いる。
 - ・「ひと」カードと「こと」カードから1枚ずつ選び、組み合わせる。
 - ・その組み合わせで、どのようなことができるか戦略を考える。
- (4) 参加者が作成した戦略を交流する。
 - ・交流では、気づきや多面的・多角的な視点が得られることが予想される。
 - ・図のマトリクス上にアイデアを配置することにより、戦略の具現化を図る演習も考えられる。



あおいもり小学校 の グランドデザイン

学校教育目標 および 令和3年度の重点

「愛」のあふれる学校

一学びを愛し 他者や先哲を愛し 地域を愛し 自らを愛する子一

豊かな人間性

他者や先哲を愛する子

- 自分と異なるものでも受容し、協働できる。
- 他者の良さを見出し、人間性を高め合う。
- 地域を理解し、郷土を愛する心情を育む。

健やかな体の育成

自らを愛する子

- 自分の心身を理解し、自分の良さに気づく。
- 苦手なことに対しても粘り強く取り組み、心身を鍛える。

資質・能力の育成

学びを愛する子

何ができるようになるか

- 学びを未知も問題や日常へと生かすことができる
- 問題の大小にかかわらず、自ら考えとともに、協働しながら問題解決できる
- 主体的に判断、行動し自分の身を守る最善の行動をとることができる

何が身についたか

- 学習したことが波及し、自らの探究活動に向かっている。
- 未知の状況、想定外の状況においても、その場の状況を的確に判断し、最適解を導いている。
- 考えの違いを乗り越え、知の更新をしている。

子どもの実態

- 決められたことを素直に行うことができる。
- 他学年との交流が盛んで、行事で協力して行える。
- 問題が起こったときに、自分たちで解決できない。
- 人間関係が固定化しており、一度こじれたら修復が難しい。

子どもの発達を

どう支援するか

目指す子どもの姿

- 難しい問題に直面しても、粘り強く考え、他者と協働しながら解決できる。
- たとえ自分と合わない他者がいても、他者の存在を認め、協力して活動することができる。
- 自分の良さを理解し、自信をもって様々な活動ができる。

何を学ぶか

- 「探究的な学び」の過程を何度も経験することで、探究的な学習の仕方を身に付ける。
- 語彙を増やすことにより、多様な表現ができる。

どのように学ぶか

- 「学び合い」によるインプット→アウトプットの活動の活性化。
- 探究的な学習をモデルにした教科横断的な学習。

実施するために何が必要か

- 子どもを主語とした教育観への転換
 - 新学習指導要領の趣旨の理解を促す研修体制の整備。
 - 研究機会の確保（県内外の研修への積極的参加，小教研との連携）。
- 地域運営協議会をより機能させる
 - 地域運営協議委員の多様な人材の登用。
 - 地域の人的，物的資源の把握，確保。
- 働き方改革による物理的・心身的時間の確保。

地域の核となる学校づくり 地域学校協働本部との連携・協働

- トップ会議（6年生，校長，PTA 会長，各関係機関代表）による学校教育ビジョンと課題の共有
- 関係機関との会議に児童（6年生代表）を参加させることで，学校の課題を把握し，学校教育目標が児童にも関係機関にも共有されるようにする。
- 外部機関と連携した活動では，学校教育目標が共有されており，活動のねらいのビジョンのベクトルが同一になるようにする。



目指す子どもの姿にせまるための 戦略 アイデアワークシート

① 私の学校は、子どもたちに対して

ひと

が
を中心に

こと

で

工夫をします。
します。

② 私の学校は、子どもたちに対して

ひと

が
を中心に

こと

で

工夫をします。
します。

【ひと①】

校長

【ひと②】

教頭

【ひと③】

教務主任

【ひと④】

生徒指導主任

【ひと⑤】

研修主任

【ひと⑥】

養護教諭

【ひと⑦】

道徳教育
推進教師

【ひと⑧】

スクール
カウンセラー

【ひと⑨】

スクール
ソーシャル
ワーカー (SSW)

【ひと⑩】

栄養教諭

【ひと⑪】
児童会
担当

【ひと⑫】
特別支援
コーディネーター

【ひと⑬】
低学年団

【ひと⑭】
中学年団

【ひと⑮】
高学年団

【ひと⑯】
事務職員

【ひと⑰】
P T A
会長

【ひと⑱】
中学校区
校長

【ひと⑲】
中学校区
の先生

【ひと⑳】
学年主任

【ひと⑳】

地域スポーツ
少年団代表

【ひと㉑】

町内会長

【ひと㉒】

幼稚園・保育園
関係者

【ひと㉓】

伝統芸能
保存会代表

【ひと㉔】

同窓会

【ひと㉕】

保護者

【ひと㉖】

卒業生
(中学生)

【ひと㉗】

年児童

【ひと㉘】

ALT

【ひと㉙】

学級担任

【こと①】
入学式

【こと②】
始業式

【こと③】
避難訓練

【こと④】
参観日

【こと⑤】
委員会活動

【こと⑥】
クラブ活動

【こと⑦】
運動会

【こと⑧】
児童会総会
児童総会

【こと⑨】
遠足

【こと⑩】
修学旅行

【こと⑪】

宿泊学習

【こと⑫】

夏休み

【こと⑬】

学習発表会

【こと⑭】

中学校との
交流学習

【こと⑮】

1年生を
迎える会

【こと⑯】

6年生を
送る会

【こと⑰】

芸術鑑賞
教室

【こと⑱】

スキー学習

【こと⑲】

児童会行事

【こと⑳】

学校行事

【こと⑳】
卒業式

【こと㉑】
修了式

【こと㉒】
授業

【こと㉓】
道徳

【こと㉔】
外国語活動

【こと㉕】
学級活動

【こと㉖】
総合的な
学習の時間

【こと㉗】
休み時間

【こと㉘】
校内研修

【こと㉙】
給食

ひと

ひと

ひと

ひと

ひと

こと

こと

こと

こと

こと